



平成21年11月19日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証・大証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成22年3月期第2四半期（中間）決算のお知らせ

T&D保険グループ（T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命）の平成22年3月期第2四半期（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険）

- 新契約高は、3兆1,423億円、前年同期から5.8%の増加、
- 解約失効高は、2兆6,708億円、前年同期から4.1%の増加、
- 保有契約高は、5兆7,291億円、前年度末から0.6%の減少となりました。

損益関係（T&Dホールディングス連結）

- 経常収益は、1兆1,392億円、前年同期から10.3%の減少、
 うち保険料等収入は、8,945億円、前年同期から5.0%の増加となりました。
- 経常利益は、468億円、前年同期から36.2%の増加となりました。
- 中間純利益は、144億円、前年同期から290.4%の増加となりました。

通期業績予想（T&Dホールディングス連結）

- 通期業績予想の修正はありません。

以上

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報部	関山	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	木村	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	古谷	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	稲生	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
新契約高	31,423	1,732 増 (5.8%増)	12,380	4,593 増 (59.0%増)	17,726	3,117 減 (15.0%減)	1,316	256 増 (24.2%増)
解約失効高 (解約失効率)	26,708	1,044 増 (4.1%増)	5,629 (3.24%)	349 減 (5.9%減) (0.24ポイント低下)	20,510 (5.31%)	1,544 増 (8.1%増) (0.56ポイント上昇)	568 (2.68%)	149 減 (20.8%減) (0.50ポイント低下)
新契約年換算保険料	857	161 増 (23.1%増)	185	16 増 (9.8%増)	419	88 増 (26.9%増)	252	55 増 (28.3%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	60	0 減 (1.2%減)	46	4 増 (11.1%増)	13	5 減 (28.7%減)	—	— (—)

(注) 1. 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
2. 解約失効率は、年換算しておりません。

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減
保有契約高	577,291	3,680 減 (0.6%減)	177,331	3,778 増 (2.2%増)	377,966	8,252 減 (2.1%減)	21,993	793 増 (3.7%増)
保有契約年換算保険料	14,258	132 増 (0.9%増)	6,056	74 減 (1.2%減)	6,630	17 減 (0.3%減)	1,572	225 増 (16.8%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,681	20 減 (1.2%減)	1,103	0 減 (0.0%減)	525	17 減 (3.3%減)	52	2 減 (4.8%減)

< 3社単純合算 >

- ・新契約高は、3兆1,423億円、前年同期から5.8%の増加。これは主に、太陽生命とT&Dフィナンシャル生命が増加したため。
- ・解約失効高は、2兆6,708億円、前年同期から4.1%の増加。これは主に、大同生命が増加したため。
- ・保有契約高は、57兆7,291億円、前年度末から0.6%の減少。

○太陽生命

- ・新契約高は、1兆2,380億円、前年同期から59.0%の増加。これは主に、昨年10月に発売した「保険組曲Best」の販売が好調であったため。
- ・解約失効高は、5,629億円、前年同期から5.9%の減少。
解約失効率は、3.24%、前年同期から0.24ポイントの低下。
- ・保有契約高は、17兆7,331億円、前年度末から3,778億円、2.2%の増加。
- ・新契約年換算保険料は、185億円、前年同期末から9.8%の増加。これは主に、「保険組曲Best」の販売が好調であったため。

○大同生命

- ・新契約高は、1兆7,726億円、前年同期から15.0%の減少。
- ・解約失効高は、2兆510億円、前年同期から8.1%の増加。
新契約高の減少および解約失効高の増加は、主に景気の低迷による。
解約失効率は、5.31%、前年同期から0.56ポイントの上昇。
- ・保有契約高は、37兆7,966億円、前年度末から8,252億円、2.1%の減少。

○T&Dフィナンシャル生命

- ・新契約高は、1,316億円、前年同期から24.2%の増加。
これは主に、前期に引き続き変額個人年金保険の販売が堅調に推移したため。
- ・解約失効高は、568億円、前年同期から20.8%の減少。
解約失効率は、2.68%、前年同期から0.50ポイントの低下。
- ・保有契約高は、2兆1,993億円、前年度末から793億円、3.7%の増加。
うち、変額個人年金保険の保有契約高は8,471億円、前年度末から1,722億円、25.5%の増加。

[損益関係]

(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
経常収益	11,392	1,306 減 (10.3%減)	4,959	614 減 (11.0%減)	4,977	1,320 減 (21.0%減)	2,087	768 増 (58.2%増)
うち保険料等収入	8,945	425 増 (5.0%増)	3,569	407 増 (12.9%増)	3,923	219 減 (5.3%減)	1,450	236 増 (19.5%増)
うち資産運用収益	2,090	2 減 (0.1%減)	901	230 減 (20.4%減)	608	307 減 (33.6%減)	594	541 増 (1,008.8%増)
経常費用	10,923	1,431 減 (11.6%減)	4,683	676 減 (12.6%減)	4,760	1,284 減 (21.2%減)	2,113	653 増 (44.8%増)
うち保険金等支払金	8,031	1,414 減 (15.0%減)	3,818	375 減 (8.9%減)	3,857	961 減 (19.9%減)	354	78 減 (18.1%減)
うち資産運用費用	702	726 減 (50.8%減)	241	302 減 (55.6%減)	268	287 減 (51.7%減)	185	143 減 (43.6%減)
経常利益 (△損失)	468	124 増 (36.2%増)	276	62 増 (29.1%増)	217	36 減 (14.2%減)	△26	114 増 (81.2%増)
特別利益	4	15 減 (79.2%減)	3	6 減 (66.0%減)	0	7 減 (98.0%減)	0	0 増 (-)
特別損失	76	54 増 (247.4%増)	65	62 増 (2,308.5%増)	10	7 減 (41.6%減)	0	0 減 (55.5%減)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	126	45 減 (26.7%減)	55	9 減 (14.8%減)	70	36 減 (33.9%減)	△0	0 減 (-)
税引前中間純利益 (△損失)	270	100 増 (59.7%増)	159	2 増 (1.7%増)	136	0 増 (0.3%増)	△26	114 増 (81.2%増)
法人税等合計	124	7 減 (5.4%減)	49	21 減 (30.6%減)	79	14 減 (15.6%減)	△7	34 増 (81.5%増)
中間純利益 (△損失)	144	107 増 (290.4%増)	109	24 増 (28.3%増)	56	15 増 (36.7%増)	△18	80 増 (81.0%増)
(参考) 資産運用関係収支 (一般勘定)	771	257 減 (25.0%減)	655	63 増 (10.7%増)	304	89 減 (22.8%減)	△166	219 減 (-)

(注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。

2. 保険料等収入の3社単純合算は8,944億円(前年同期比5.0%増)です。

< T & Dホールディングス連結 >

- ・ 経常収益は、1兆1,392億円、前年同期から10.3%の減少。これは主に責任準備金戻入額が減少したため。うち、保険料等収入は、8,945億円、前年同期から5.0%の増加。
- ・ 経常利益は、468億円、前年同期から36.2%の増加。これは主に、T&Dフィナンシャル生命で相場回復等により最低保証リスクに係る責任準備金が戻入となったため。
- ・ 中間純利益は、144億円、前年同期から290.4%の増加。

○太陽生命

- ・ 保険料等収入は、3,569億円、前年同期から12.9%の増加。
これは主に、個人保険・団体年金保険の保険料が増加したため。
うち、個人保険の保険料は、「保険組曲Best」の販売が好調であったことから、2,072億円、前年同期から1.9%の増加。
- ・ 資産運用収益は、901億円、前年同期から20.4%の減少。
これは主に、有価証券売却益が減少したため。
- ・ 保険金等支払金は、3,818億円、前年同期から8.9%の減少。
これは主に、団体年金保険のシェア変更に伴う支払金が減少したため。
- ・ 資産運用費用は、241億円、前年同期から55.6%の減少。
これは主に、有価証券売却損および有価証券評価損が減少したため。
- ・ 経常利益は、276億円、前年同期から29.1%の増加。
- ・ 特別損失は、65億円、前年同期から2,308.5%の増加。
これは主に、価格変動準備金繰入額が増加したため。
- ・ 中間純利益は、109億円、前年同期から28.3%の増加。

○大同生命

- ・ **保険料等収入**は、3,923億円、前年同期から5.3%の減少。
これは主に、団体年金保険の保険料が減少したため。
- ・ **資産運用収益**は、608億円、前年同期から33.6%の減少。
これは主に、利息及び配当金等収入が減少したため。
- ・ **保険金等支払金**は、3,857億円、前年同期から19.9%の減少。
これは主に、団体年金保険の保険金等支払金が減少したため。
- ・ **資産運用費用**は、268億円、前年同期から51.7%の減少。
これは主に、有価証券評価損および売買目的有価証券運用損が減少したため。
- ・ **経常利益**は、217億円、前年同期から14.2%の減少。
これは主に、一般勘定の資産運用関係収支が減少したため。
- ・ **中間純利益**は、56億円、前年同期から36.7%の増加。
これは、税引前中間純利益は前年同期並であったものの、法人税等合計が減少したため。

○T&Dフィナンシャル生命

- ・ **保険料等収入**は、1,450億円、前年同期から19.5%の増加。
これは主に、変額個人年金保険の新契約が増加したため。
- ・ **資産運用収益**は、594億円、前年同期から1,008.8%の増加。
これは主に、特別勘定資産運用益が増加したため。
- ・ **保険金等支払金**は、354億円、前年同期から18.1%の減少。
これは主に、変額個人年金保険の解約返戻金が減少したため。
- ・ **資産運用費用**は、185億円、前年同期から43.6%の減少。
これは主に、特別勘定資産運用損が減少したため。
- ・ **経常利益(△損失)**は、△26億円、前年同期から114億円の改善。
これは主に、相場回復に伴い変額個人年金保険の最低保証リスクに係る責任準備金が戻入となったため。
- ・ **中間純利益(△損失)**は、△18億円、前年同期から80億円の改善。

〔その他の指標等〕

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比	当第2四半期累計	前年同期比
基礎利益	672	30 増 (4.8%増)	235	0 減 (0.0%減)	263	274 減 (51.1%減)	173	305 増 (-)
逆ざや額	329	(注) -	88	32 減	223	(注) -	18	0 減

(注) 前年同期に大同生命が70億円の順ざやであったため、3社合算および大同生命の逆ざや額の前年同期比は記載しておりません。

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減	当第2四半期末	前年度末 比較増減
ソルベンシー・マージン比率			987.6%	121.2ポイント上昇	1,008.9%	188.2ポイント上昇	760.9%	71.1ポイント低下
実質純資産	10,501	1,863 増	4,081	777 増	5,488	1,025 増	931	60 増
有価証券差損益(一般勘定)	1,554	1,809 増	964	723 増	548	1,074 増	41	11 増
うち公社債	894	409 増	510	125 増	344	273 増	40	10 増
うち株式	1,059	613 増	582	495 増	477	117 増	-	-
うち外国証券	226	191 増	141	91 増	84	100 増	0	0 減
うちその他の証券	183	585 増	0	1 増	184	583 増	0	0 増
うち金銭の信託	0	0 減	-	-	0	0 減	-	-
うち買入金銭債権	9	9 増	12	9 増	2	0 増	-	-
土地等の差損益	518	8 減	215	7 減	303	0 減	-	-

(注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

3. T&D保険グループの平成21年9月末におけるヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)は、1兆1,364億円(前年度末比2,698億円増)となりました。うち、太陽生命は4,223億円(同1,264億円増)、大同生命は7,409億円(同1,334億円増)、T&Dフィナンシャル生命は763億円(同106億円増)となりました。

詳しくは、「平成21年9月末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご参照ください。

< 3社単純合算 >

- ・基礎利益は、672億円、前年同期から4.8%の増加。これは主に、T&Dフィナンシャル生命で相場回復等により最低保証リスクに係る責任準備金が戻入となったため。
- ・実質純資産は、1兆501億円、前年度末から1,863億円の増加。
有価証券差損益は、1,554億円、前年度末から1,809億円の増加。
実質純資産および有価証券差損益の増加は主に、株式やその他の証券の評価差損益が増加したため。

太陽生命

- ・基礎利益は、235億円、前年同期と同水準。
- ・逆ざや額は、88億円、前年同期から32億円の減少。これは主に、基礎利益上の運用収支が横ばいであった一方、予定利息負担が減少したため。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、987.6%、前年度末から121.2ポイントの上昇。
- ・実質純資産は、4,081億円、前年度末から777億円の増加。
- ・有価証券差損益は、964億円、前年度末から723億円の増加。
これは主に、株価の上昇に伴い株式の評価差損益が増加したため。

大同生命

- ・基礎利益は、263億円、前年同期から51.1%の減少。
- ・逆ざや額は、223億円(前年同期は70億円の順ざや)。
基礎利益の減少および逆ざやに転じたのは主に、利息及び配当金等収入が減少したため。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、1,008.9%、前年度末から188.2ポイントの上昇。
- ・実質純資産は、5,488億円、前年度末から1,025億円の増加。
- ・有価証券差損益は、548億円、前年度末から1,074億円の増加。
ソルベンシー・マージン比率の上昇および実質純資産・有価証券差損益の増加は主に、株価上昇に伴い株式およびその他の証券の評価差損益が増加したため。

T&Dフィナンシャル生命

- ・基礎利益は、173億円、前年同期から305億円の改善。
これは主に、相場回復に伴い、変額個人年金保険の最低保証リスクに係る責任準備金が戻入となったため。
- ・逆ざや額は、18億円、前年同期から0億円の減少。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、760.9%、前年度末から71.1ポイントの低下。
これは主に、変額個人年金保険の新契約獲得に伴い、最低保証リスク相当額が増加したため。
- ・実質純資産は、931億円、前年度末から60億円の増加。
- ・有価証券差損益は、41億円、前年度末から11億円の増加。

[平成22年3月期通期業績予想]

平成21年5月19日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。
参考として、同日公表の業績予想を再掲いたします。

○T&Dホールディングス連結

(単位：億円)

	平成21年3月期実績	平成22年3月期予想	増減
経常収益	25,398	20,100	5,298 減 (20.9%減)
経常利益 (△損失)	△1,838	780	2,618 増 (-)
当期純利益 (△損失)	△890	180	1,070 増 (-)

1株当たり年間配当金予想は45円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成22年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,100 (2,021 減) (18.2%減)	9,700 (2,805 減) (22.4%減)	2,700 (153 減) (5.4%減)
経常利益 (△損失)	410 (1,046 増) (-)	500 (1,433 増) (-)	△140 (128 増) (47.8%減)
当期純利益 (△損失)	110 (265 増) (-)	170 (690 増) (-)	△100 (98 増) (49.5%減)

(注) 括弧内は平成21年3月期からの増減額・率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成22年3月期通期見通し

(単位：億円)

	3社合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,010 (1,280増) (-)	500 (49増) (11.1%増)	550 (862増) (-)	△40 (368増) (90.2%減)
保険料等収入	16,900 (356増) (2.2%増)	6,600 (633増) (10.6%増)	7,800 (319減) (3.9%減)	2,500 (42増) (1.7%増)
逆ざや額	500 (1,037減) (67.5%減)	170 (32減) (16.0%減)	300 (998減) (76.9%減)	30 (6減) (17.9%減)
新契約高	63,000 (3,089増) (5.2%増)	22,000 (1,868増) (9.3%増)	38,600 (983増) (2.6%増)	2,400 (237増) (11.0%増)
保有契約高	575,500 (5,471減) (0.9%減)	176,800 (3,247増) (1.9%増)	377,400 (8,818減) (2.3%減)	21,300 (99増) (0.5%増)
解約失効率 (%)		7.5 (0.2ポイント上昇)	9.8 (0.2ポイント低下)	5.7 (0.3ポイント低下)

(注) 1. 括弧内は平成21年3月期からの増減額・率です。

2. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。